

乳児期のステロイド使用後に顔・体幹症状が広がった乳児アトピーの経過 (0 歳男児)

症例 ID：001-00-KJ | 記録日：2014 年 11 月 11 日

1. 診断・治療前経過

生後 5 か月頃、耳の周囲が黄色く固まるような状態となり、小児科でアトピーの可能性を指摘されました。リンデロンを耳周囲に使用すると翌日には一時的に目立たなくなりました。

その後は額、頬、足、腹部、背中へ赤みが広がり、ステロイドを使用しても十分な変化が得られなくなりました。初回使用から約 3 週間後の 4 月末に中止し、5 月 7 日に松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	生後 5 か月頃からリンデロンを顔や体で使用しました。
製品名	リンデロン
強度	不明です。
使用期間	約 3 週間です。
中止時期	4 月末に中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 5 か月頃	来院前	耳周囲の黄色い痂皮にリンデロンを使用し、翌日に一時的な変化がみられました。
4 月末	中止	額、頬、足、腹部、背中へ赤みが広がり、ステロイドをすべて中止しました。
5 月 7 日	治療開始	松本医院を受診し、漢方入浴や外用処置を開始しました。
開始 10～15 日頃	症状の強い時期	夜間のかゆみ、泣き、額の出血、皮膚の剥がれ、全身の赤い発疹がみられました。
開始約 1 か月半	変化	頬、背中、腹部の皮膚状態に変化がみられました。
開始約 2 か月	経過後	顔や腹部の症状は目立ちにくくなり、臀部や頬に一部症状が残りました。
2014 年 8 月頃	生活変化	睡眠がとれるようになり、頬のかさつきが出る日はあるものの全身状態は安定していました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始から 10～15 日頃に、夜間のかゆみ、泣き、額の出血、落屑、全身の赤い発疹が重なった時期です。

5. 困りごと

- ・夜間にかゆみで目を覚まし、泣きながら掻く状態がありました。
- ・漢方入浴や外用処置を長時間続ける必要があり、保護者の負担が大きい時期がありました。
- ・顔や頭部の症状が強い時期には、保護者の不安も大きくなりました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



2014 年 5 月 8 日。顔の赤みがみられる時期の記録。



2014 年 5 月 14 日。体幹部の赤みがみられる時期の記録。



2014 年 5 月 15 日。顔の赤みと掻破がみられる時期の記録。



2014 年 5 月 27 日。耳周囲から頬に赤みと浸出がみられる時期の記録。



2014 年 6 月 30 日。体幹部の皮膚状態の記録。



2014 年 7 月 22 日。臀部周囲に症状が残る時期の記録。



2014 年 8 月。睡眠中の状態の記録。

7. 経過のまとめ

治療開始後は顔や全身の赤み、出血、落屑が強く出る時期を経ましたが、約 1 か月半から 2 か月にかけて、顔や体幹の症状が目立ちにくくなりました。

2014 年 8 月頃には睡眠がとれるようになり、頬にかさつきが出る日はあるものの、強かった時期と比べて皮膚状態と生活面に変化がみられました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。